



## 8月号

平成5年8月1日

発行／編集

岡崎市教育委員会

虫めがねでメダカを追い

図鑑と見比べた

背びれ 尻びれ

「オス、メスがいるよ」

調べて、確かめ、わかつた喜び

さあ 自分のミニ水槽で飼育開始だ

「あつ卵だ。先生、卵を産んだよ」

直径一ミリの 泡みたいな卵十個

顕微鏡で 初めて見る卵

ドクドク 小刻みに動いている

ドクドク ドクドク 生命の鼓動

大切に見守り続けて 十二日目

「先生、メダカの赤ちゃんが泳いでる

卵のからを破つて

とうとう メダカの誕生だ

自分の力で泳いでる

かすかに やさしく

水中で体を動かして……

メダカを見つめる 満ち足りた瞳

小さな 小さな卵から

新しい生命が誕生し 今呼吸している

生命の神秘さを感じ

慈しみの心が 育まれている

誕生



(リサイクル運動－連尺小)

## —教育隨想—



## 教育の原点

愛知県立岡崎北高等学校長

藤井 满

「学」の旧字体は「學」であるが、その解字は一説に、子と臼の合字で、臼は両手の意で手ぶり身ぶりを真似る意味であるという。頑是無い子が礼の所作を真似たり、生きるための「たづき」（手付き・方法）を真似て覚えるのである。そういうえば、古語の「まねぶ」と「まなぶ」は同義である。親が子に一人立ちして生きて行けるように、身をもつて教えるのを子が習得するのが「学」の原義である。

テレビで動物の生態を撮った番組をときどき視ることがある。子を育てる親のけなげな愛情に胸を打たれ、弱肉強食、適者生存の非情な自然の門外漢で間違っているかもしだれな

が親は子にどのように育つてほしい



と願っているであろうか。最低の条件として心身ともに健康でたくましく、社会で自立自活してくれることを願うのではないか。いつまでも親がかりでなければ生きていけないのは困るのである。

近代の学校制度が確立され、教育が親と子の関係から、教師と子供たちとの集団教育の場へと中心が移行した。しかも社会は複雑化、多様化

し、地球的規模で拡大し、技術革新は日進月歩である。その多様性、専門性に応ずる教育が要求され、その高度化の故に、不適応を来す子供がみな一人立ちしていく。親は子に、ときには冷酷にも餌をやらなかつたり、突き放したりして一人立ちを促す。これは近親繁殖を防ぐ本能であるのかもしれない。しかし、一人立ちするまでは餌の捕り方、外敵から身を守る方法を必死の思いで親は子に教育む。こうした親の願いこそが教育の原点なのではないか。

新學習指導要領では、新しい学力観に立つて「自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる能力」、いわゆる「自己教育力」の育成が強調されている。これなども「巣立ち」を願う親の気持ちと同じである。私たち教育に携わる者は今一度教育の原点を振り返ってみる必要がある。

(ふじいみつる)



ぼんつくからパソコンまで

理科指導員 小倉 敏幸

近くに川が流れているだけでは自然に親しめない。ぼんつくの困難さを乗り越えて、楽しさに変えてくれる人がいる。かつては年長者であったが、今はだれなのだろう。

「今日は、あんまりかからんねえ。」  
「……かかった。」  
「小さいカワムツ、逃がしてやりん。」  
「やあ、ミズカマキリだ。嫌い。」  
そのうちに、一人が足を滑らして



## ふるさとシリーズ

## この人に聞く



## 日本仏教会

小幡 潮薩 氏

岡崎市の観光文化百選に選ばれた祐金町の善立寺。すぐ前の保育園から子供たちの明るい声が響いてくる。庫裏の玄関から広い部屋へ通されるとき、寺院独特の雰囲気がして心が落ち着いてきた。

白いひげをたくわえた小幡住職は明治生まれのご高齢でありながら、ちやんでいた。今なお仏教会の中心的な存在として国内外で活躍している。昨年二月には仏教徒を代表して、三十名ほどを連れて、念願のスリランカへ行かれた。

「スリランカはインドと違い、釈迦は日本人の遺骨が散乱しているため、遺骨収集は今やらねば手遅れになる。」

白いひげの理由を尋ねると、奥の部屋から写真を取り出された。そこには、今より更に伸びた白髪の小幡さんが写っていた。身延山での荒行を終えた直後の、神々しい僧侶の姿であった。写真を見ながら、日蓮宗の荒行について熱っぽく語られた。

「荒行は十一月一日から百日間、同志が集まって行う。釈迦の説いた法華経を研究し、みんなで天下の太平を願う。午前三時に起床し、一日に七回水をかぶり、その間僅かな食事だけで、行は午後十一時三十分まで続く。横になるのはわずか三時間半ほどである。」

昭和十七年から、小幡さんはこの荒行に十三回も参加され、指導にもあたられたが、辛抱することの大切さを何度も強調されたという。

小幡さんは修業を重ね、昭和十八年に善立寺の住職となられた。太平洋戦争中は勤労奉仕隊として北海道へ出向き、また二年半ほど岡崎市内の三島学校で教職にも就かれた。戦後、

に関した遺跡・遺物がまだ残つておらず、研究には必要なところだ。」

「樺太には多くの日本人の遺骨が散乱しているため、遺骨収集は今やらねば手遅れになる。」

「まず子供を何とかしたい。確固たる信念は、子供のころから養うものであり、子供の教育に仏教的な精神を加味したい。」

と思い立ち、保育所の設置に奔走された。昭和二十四年には福祉事業として厚生省から認可が下り、現在の祐金保育園に至っている。

仏教会全体のためを考え、また、子供たちの将来を真剣に考えて、今なお強い信念を持ち続けられている小幡さん。頭が下がる思いで善立寺を後にした。

氏名 おばた ちようき  
生年月日 明治四十四年八月二十日  
住所 岡崎市祐金町一・三十一



「まず子供を何とかしたい。確固たる信念は、子供のころから養うものであり、子供の教育に仏教的な精神を加味したい。」

水の中に尻もちをつく。しかし、そんなことはお構いなしで、男の子を先頭に川上へ前進。消極的だった女の子も子ガメを見つけて嬉しそう。子供たちを野外に連れ出すことの意義を改めて感じずにはいられない。

理科の基本は、このような自然との対話にある。ここを出発点として児童に「問題解決」の道を歩んではいい。そうでないと、学習としての理科の価値は半減してしまう。

問題解決の一手法として、最近、脚光を浴び出したのが、パソコンである。応答が速い、個別化に対応できる、意欲面で効果が大きい、などの利点は活用すべきであろう。パソコンで観察画を描く、台車の運動エネルギーを即座にグラフ画面に表示するなどの学習は、すでに持ち込まれてきているのだから。

ほんづくからしてみると、長い道のりであるかも知れない。しかし、はたらきかけければ必ず何らかの応答がある、それが理科の良さだから。

〔学問の周辺〕  
岡田節人著 佼成出版社

〔時間の発見〕  
コリン・ウイルソン編著

竹内均訳

三笠書房

# 国体まであと1年

大会を支える岡崎の子どもたち



日本最大のスポーツの祭典、国民体育大会が、四十四年ぶりに愛知県で開催される。この「わかつやち国体」まで、あと一年余りとなつた。岡崎はアーチェリー、空手道、少年男子バスケットボールの会場となる。

去る七月十・十一日、来年の本番に備え、リハーサルを兼ねて、岡崎中央総合公園で、全日本実業団アーチェリー大会が開催された。

このリハーサル大会は、本番さながらの運営方法で競技が行われた。

開会式前のアトラクションでは、美合小学校、本宿小学校の児童が、「さよなら文明」などの曲に合わせて円を作つたり、分列行進をしたりして、ドリル演奏を見事に披露した。



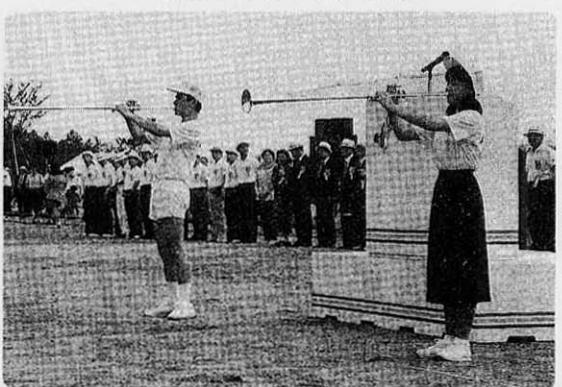
▲ 入場行進曲「若い力」の演奏

第41回  
全日本実業団アーチェリー大会

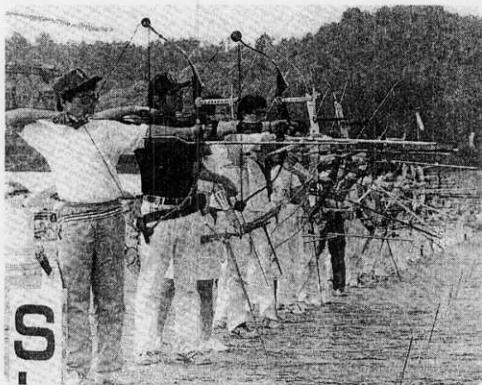
(第4回世界青年大會アーチェリー競技リハーサル会)



▲ 選手団の先導を務める中学生



▲ 高らかにファンファーレ



▲ 30m先の標的に向かう選手



## 第41回全日本実業団アーチェリー大会

(第49回国民体育大会アーチェリー競技リハーサル大会)



▲ 得点速報を掲示する東海中生徒



▲ 「岡崎讃歌」の大合唱

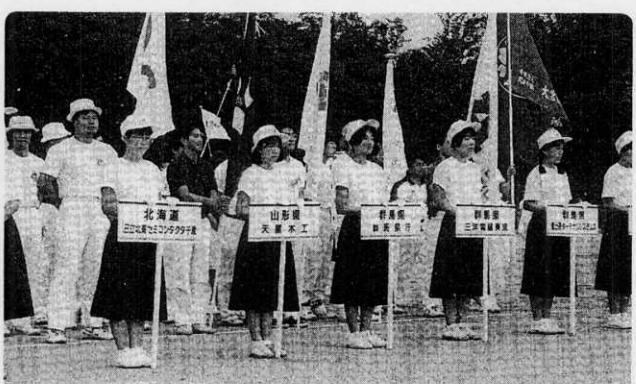
持、旗保持・掲揚、行進誘導の四つの係に、市内各校から選ばれた生徒が協力員として活躍をしていた。

また、東海中学校アーチェリー部員たちは、得点の記録と集計をもとに、記録の印刷や選手への配布、掲示板への貼付などの仕事を受け持ち、きびきびと運営の補助にあたっていた。

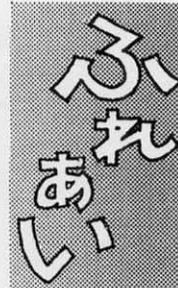
この八月十日には、全日本教員バスケットボール選手権がリハーサルを兼ねて、同じく岡崎中央総合公園の体育館で開催されることになっている。



▲ 開会式に花を添えるドリル演奏



▲ 勢揃いした各県選手団



## 現地校訪問

ロンドン日本人学校

中村 吉史

「先生、何やつてるか分から  
ない。」「どうして、見てりや分かる  
でしょ。」

六年生のR子との会話です。

場所はパワーズホールスク

ール。年に一回ずつ訪問し、

また訪問を受けます。今年は

五年、六年各クラスから五名ず

つの子が訪問しました。

十時から二時まで、その学

校の同じ年齢の学級に配属さ

れ一緒に行動します。その時

は図工の時間でした。困った

R子には、英人の子の方から

声をかけてくれて、身ぶり手

ぶりで何をしたらしいのか、

やつと分かりました。

イギリスに住んでいるとは  
いえ、日本人学校の子は普段  
なかなか英人の子と触れ合  
う機会がありません。現地校訪



問は貴重な現地理解の場です。

小学部では他に二校、現地校  
との交流を続けています。

英会話らしい会話は、この

ときが初めてという子の方が  
多いのです。

さて、弁当も一緒に食べて、  
休み時間になりました。男子

はやっぱりサッカー。本場で  
す。どちらも負けずに上手で  
す。女の子はなわとびなど、  
どんどん仲よくなります。

「運動してる時の方が気楽に  
話せる」と彼女も一段と元氣  
です。

「二期にまた会おうね」と  
約束をして別れました。

さて今度は、日本の学校の  
ことを教えてあげる番です。

「二期にまた会おうね」と  
約束をして別れました。

上げた時は、大仏次郎の「天  
皇の世紀」と島崎藤村の「夜  
明け前」をもとに時代背景を  
明快に語られた。学級生徒の

父親が抗議にやつてきた時は、  
「この担任を信用することが  
第一である」と親を説き、私  
には教師のあり方として「至  
誠」という言葉を教えてくだ  
さった。翌朝 私の机上には  
河上徹太郎の「吉田松陰の手  
紙」が置いてあつたが、一人

免許状を取得し、運よく教壇  
に立つことができても、それ

## 信念の教育者

六北小教頭

梶尾 長夫

七十二歳の先生は、今もな  
お高校の教育現場で陣頭指揮  
をとつておられる。まさしく

教育一筋である。

私が先生の下で勤務したの  
は、新卒間もない岩津中学校

時代の五年間であった。「二  
十代は専門学科の研究に全力

を尽くせ。その後は教養の幅  
を次第に身につけよ」と、そ  
の教えには根底をゆさぶる迫

力と重みがあった。

授業研究で明治維新を取り  
上げた時は、大仏次郎の「天  
皇の世紀」と島崎藤村の「夜  
明け前」をもとに時代背景を  
明快に語られた。学級生徒の

父親が抗議にやつてきた時は、  
「この担任を信用することが  
第一である」と親を説き、私  
には教師のあり方として「至  
誠」という言葉を教えてくだ  
さった。翌朝 私の机上には  
河上徹太郎の「吉田松陰の手  
紙」が置いてあつたが、一人

免許状を取得し、運よく教壇  
に立つことができても、それ

は、その年のことである。  
「俺は雑学」を口癖にする

先生は、自然と情味と信念の  
人であり、私の師そのもので  
ある。

も誰にも負けぬ程して、いた。  
毎日学級通信を発行し、毎

日おそらくまでガリ版を切つ  
いた姿が今も目に映る。数年

間毎日出すことは、どれ程多  
大な努力を要したことか。ま

た問題児の個別指導は親切丁  
寧で血が通っていた。「梶尾

先生が担任なら安心だ」と父  
兄が言つたが当然である。あ

の当時の君には、頭を下げる。

現在君は教頭で、職員を指  
導する立場にある。心の通う  
指導をしていることだろう。

「人は強くなれば生きられ  
ない。しかし強さの中にやさ  
しさがなければ人間たる資格  
はない」(チャンドラー)



人、人にあらず  
知るをもて人とす

岡崎学園高校

神谷 卓爾

君と岩津中で共に勤めたの  
は二十年前である。若く澁刺  
たる新任教師であったが、教

師として必要な資質はすべて  
具備していた。鍛え甲斐のあ  
る青年教師と思えた。

文題は世阿弥の言葉である。  
文題は世阿弥の言葉である。

「人は強くなれば生きられ  
ない。しかし強さの中にやさ  
しさがなければ人間たる資格  
はない」(チャンドラー)

君はやがて本当に人師とし  
て大成すると信じている。

で一人前の教師であるわけは  
ない。校長は教育の本質を職  
員に教えることである。それ  
で君を鍛えるため、時には強  
い言葉を使つたことがあった  
が、本当に素直に聞いてくれ  
た。後で「時には頭をぶんな  
ぐられたような気がした」な  
どと言われたこともあるが、  
大きく成長してくれた。読書  
も誰にも負けぬ程して、いた。  
毎日学級通信を発行し、毎

日おそらくまでガリ版を切つ  
いた姿が今も目に映る。数年  
間毎日出すことは、どれ程多  
大な努力を要したことか。ま  
た問題児の個別指導は親切丁  
寧で血が通っていた。「梶尾

先生が担任なら安心だ」と父  
兄が言つたが当然である。あ

の当時の君には、頭を下げる。

現在君は教頭で、職員を指  
導する立場にある。心の通う  
指導をしていることだろう。

「人は強くなれば生きられ  
ない。しかし強さの中にやさ  
しさがなければ人間たる資格  
はない」(チャンドラー)

君はやがて本当に人師とし  
て大成すると信じている。

● 常磐中  
常磐中  
● テレビ番組最優秀

◆ 第十回 NHK杯全国中学校放送コンテスト県大会  
放送コンテスト県大会  
● 特選・緑化(標語)  
井田小四年 鈴木 南  
特選・緑化(習字)  
新香山中二年 甲斐 矢作中  
東海中一年 中村 六ッ美中二年 渡辺 真規  
◆児童生徒緑化・愛鳥作品  
◆コンクール  
甲山中三年 鈴木 陽子  
甲山中三年 原野由香里  
甲山中三年 柴田 桂輔  
甲山中三年 甲斐 矢作北  
甲山中三年 有希 麻美  
甲山中三年 美智子 矢作  
甲山中三年 城北 甲山  
甲山中三年 矢作  
甲山中三年 赤松 稲垣ひとみ  
甲山中三年 太田 康代  
甲山中三年 武田 恵子  
甲山中三年 高須・山下 近藤・武田  
甲山中三年 平岩・上田 矢作

◆ 第七回岡崎市中学生の主張  
コンクール  
● 優秀賞  
甲山中三年 鈴木 陽子  
甲山中三年 原野由香里  
甲山中三年 柴田 桂輔  
甲山中三年 甲斐 矢作北  
甲山中三年 有希 麻美  
甲山中三年 美智子 矢作  
甲山中三年 城北 甲山  
甲山中三年 矢作  
甲山中三年 赤松 稲垣ひとみ  
甲山中三年 太田 康代  
甲山中三年 武田 恵子  
甲山中三年 高須・山下 近藤・武田  
甲山中三年 平岩・上田 矢作

お知らせ



## 第37回岡崎市中学校総合体育大会・水泳の部記録

種目	氏名	校名	記録
100m 自由形	山田 真二	葵	1'00"7
200m 自由形	後藤 宏平	甲山	2'14"6
100m 平泳	杉本 崇	竜海	1'18"0
100m 背泳	由良 俊樹	矢作北	1'10"5
100m バタフライ	高山 章	甲山	1'05"8
200m 個人M	渡辺 英士	矢作北	2'33"2
400m R	後藤・戸塚	甲山	4'07"6
	高山・中根		
400m MR	柳原・杉本 長坂・浅井	竜海	4'42"2
100m 自由形	浦出 智子	矢作	1'04"2
200m 自由形	関谷 清佳	城北	2'25"4
100m 平泳	赤松 園子	矢作	1'27"3
100m 背泳	稻垣ひとみ	葵	1'17"2
100m バタフライ	太田 康代	竜海	1'11"4
200m 個人M	武田 恵子	矢作北	2'46"5
400m R	高須・山下 近藤・武田	矢作北	4'31"5
400m MR	浦出・赤松 平岩・上田	矢作	5'11"1

## 平成5年度夏期実技講習会

教科・領域	期日	会場	人数
国語(書写)	8・2	新香山中	60
算数・数学	8・3	岩津市民センター	60
理科	8・2	緑丘小	40
社会	8・3	市民会館	40
図工・美術	8・2	世界子ども美術博物館	50
小学校・家庭科	8・2	細川小	40
音楽	8・4	太陽の城	80
中学校技術・家庭	8・3	南中	45
英語	8・3	六ヶ美市民センター	60
特殊教育	8・3	愛教大附属養護学校	50
視聴覚	8・2~3	竜美丘小	40
情報教育	8・2	北中・葵中	80
学校図書館	8・2	岡崎市立図書館	80
保健	8・3	岡崎市勤労文化センター	50
生活科	8・3	南部市民センター	60
野外活動指導者講習会	7・29~31	岡崎市少年自然の家	60



子どもの国



伸び伸びと遊ぶことのできる場づくりに力を入れる本校には、個人遊具がたくさんあります。中でも、一輪車は人気の的。今日も軽快に乗りこなす一団が校庭に広がります。

百百ハ年ノ初メアリマスカテ  
リ宇クナキマシタイツモ新年ハズア  
鳴クヨモアヌオモタクニヨモア  
皇太后陛下ヲモレテリマシタオ  
アサニトクタシガスクタクアル  
毎年大成マリマス年ハアリマセ

矢作北小資料館蔵

## 綴り方草稿帳

たどたどしい墨跡のかたか 治三十年に書かれたものであ  
なを一文字ずつ拾い読みをし ろうと推測される。

ていると、当時の学校の様子 や子供たちの生き生きとした姿が目に浮かぶようである。

ここに紹介した「綴り方草 稿帳」は、今で言うならば、「さしづめ作文練習ノート」のよ うなものであろう。日記、学 習のまとめ、表現の練習など が筆で書かれている。

「今年ノ新年」と題して書かれた日記に、「今年ハ皇太后陛下ノオカクレニナリマシタ……」とあることから、明

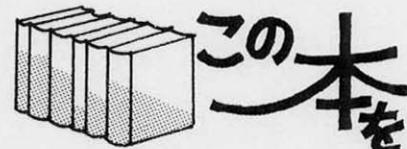
なを一文字ずつ拾い読みをし ろうと推測される。

おもしろいように的に吸い込まれてい  
く矢。その集中力は並大抵のものではな  
い。国体をめざし、緊張の糸は徐々に張  
りつめていく。この日、六百数十名の中  
学生も本番さながらの演奏、はつらつ  
とした行進を披露した。翻える旗  
の下、思いは二年先に馳せている。

新幹線に初めて乗るんだ、と夏  
休み前そつと近づいて、小さな声で  
話してくれたクラスの男の子。新しい体験  
は、私たち大人の想像を越えた興奮と喜  
びを子供に与え、心と体を成長させる。  
九月、それぞれの体験を元気な顔で話  
してくれる子供との出会いが待ち遠しい。

シ  
オ  
ス  
ア

墨で書かれた草稿帳をくりな  
がら、昔の子供の言葉遣いのてい  
ねいさに感心させられる。それにしても、  
国語審議会が指摘する「ら抜き言葉」な  
ど、日本語の流れを生じさせた原因はど  
こにあるのだろう。授業を終えて、自身  
の言葉遣いを振り返ってみた。



### \* 文芸教育

明治図書

西郷竹彦編

¥1650

### \* ニホン語日記

文藝春秋

井上ひさし

¥1100

### \* 林望のイギリス観察辞典

平凡社

林 望

¥1400

### \* 胸の振子

文藝春秋

山川 静夫

¥1500

### \* この本がいい

講談社

三浦 雅士

¥3200

対談形式による読書案内の書。科学・歴史・経済の分野から芸能や庶民生活に至るまで、広範な話題が用意されている。対談による思考の中で本の紹介がなされているから、その魅力がいっそう増す。

著書は、あと書きの中で、「読書の快樂は性や食に匹敵する。やっぱり本はおもしろい。なぜなら世の中、知らないことをばかりだから」と述べている。

知的好奇心をくすぐる、魅惑に富んだ案内書である。

・表紙写真  
・表紙詩  
連尺小  
南中  
南野  
神尾  
正春  
薰